

## 台風への備えと事後対策

### 台風前

!!ねぎは湿害を受けやすいです!!

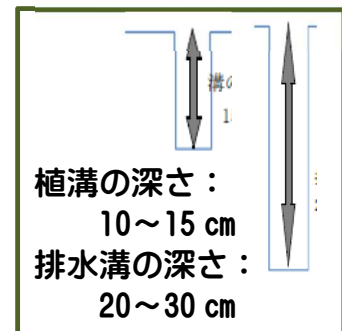
#### 【強風・倒伏対策】

- 首元が伸びあがっている時や土寄せができるものは、**事前に土寄せ**を行う。
- 収穫直前のものは、ネギの上から防鳥ネットをかけて、ネギ同士で支えあう。



#### 【浸水対策】

- ほ場周囲に**排水専用の溝**を掘る。  
(深さ: 定植溝 + 5~15 cm)。
- 表面排水 VS 地下浸透は 7 対 3**



### 台風後

#### 【浸水した時】

- 明きよを掘るか、ポンプでくみ上げ、**速やかに排水**する。
- 株元が泥で固まった場合、草なぎ等でひっかけ、株元の**通気性を良く**する。

#### 【ネギの倒伏・折れ等】

- 自然にある程度は起き上がるが、気温が下がるにつれて回復に日数がかかる。  
状況に応じて、株起しを行う。株元の土を軟らかくして、ネギを立てて土で押さえる。
- 葉身が傷ついた場合、土寄せはすぐにせず、**新葉の伸びを確認してから土寄せ**を行う。
- ほ場作業が可能になり次第、**病害防除**を行う。  
・細菌病等を中心に病害の発生が懸念されるため、収穫前日数に注意して薬剤防除を実施する(裏面)。
- ネギの草勢に応じて、追肥や液肥の葉面散布を行う。

## ネギの軟腐病に登録のある主な殺菌剤:令和元年10月2日現在

薬剤名	希釈倍数・ 使用量	使用方法 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	成分名	FRAC コード	有効成分の 使用回数	備考
スターナ 水和剤	2000倍	散布	収穫7 日前まで	3回 以内	オキソリニック酸	31	3回以内	
ナレート 水和剤	1000倍		収穫21 日前まで	3回 以内	有機銅	M01	5回以内	
Zボルドー	500倍		—	—	塩基性硫酸銅	M01	—	野菜類登 録
カスミン ボルドー	1000倍		収穫14 日前まで	2回 以内	塩基性塩化銅 カスガマイシン	M01 24	2回以内	
バリダシン 液剤5	500倍		収穫21 日前まで	1回	バリダマイシン	U18	2回以内(但し、は種 時の灌注は1回以 内、散布及び株元散 布は合計1回以内)	*他の病 害登録有

## ネギの黒斑病等に登録のある主な殺菌剤:令和元年10月2日現在

薬剤名	対象病害虫	希釈倍数・ 使用量	使用方法 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	成分名	FRAC コード	有効成分の 使用回数
ロブラール水 和剤	小菌核腐敗病 黒斑病	1000～ 1500倍	散布	収穫14日 前まで	3回 以内	イプロジオ ン	2	4回以内(但 し、種子粉衣は 1回以内、は種 後は3回以内)
	小菌核腐敗病	500倍	1平方メートル あたり0.5～1L 株元灌注					
アフエットフ ロアブル	黒斑病、さび病 白絹病、葉枯病 小菌核腐敗病	2000倍	散布	収穫前日ま で	2回 以内	ペンチピ ト	7	4回以内(但 し、株元灌注は 2回以内、散布 は2回以内)
	白絹病 黒腐菌核病	1000～ 2000倍	1平方メートル あたり1L株元 灌注	生育期(但 し、収穫14 日前まで)				
パレード20 フロアブル	黒腐菌核病、 さび病	2000倍	散布	収穫前日ま で	3回 以内	ピラジフル ミド	7	3回以内
	黒斑病、葉枯病 小菌核腐敗病	2000～ 4000倍						
ポリベリン水 和剤	黒斑病、葉枯病 小菌核腐敗病	1500倍	散布	収穫14日 前まで	3回 以内	ミノクタ ン	M07	3回以内
						ポリオキ ン	19	3回以内
アミスター20 フロアブル	黒斑病、さび病 葉枯病、べと病	2000倍	散布	収穫3日 前まで	4回 以内	アゾキシ トピン	11	5回以内(但 し、粒剤は1回 以内、水和剤 は4回以内)

### 【主な展着剤と主な特徴】 薬剤の効果を確実にするために、展着剤を利用が効果的です。

ミックスパワー	展着性、浸達性	アプローチBI	展着性、浸達性
ドライバー	展着性、高濡れ性	ニース	展着性、浸達性

【注意】 1 「2019年10月2日現在の登録内容です」 2 参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍率や使用量、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。また、農業の安全評価に新たな手法として短期暴露評価が導入されることとなりました。それとともない、農業によっては使用できなくなる作物が生じたり、使用方法の変更が行われる場合があります。短期暴露評価により使用方法が変更された農業は、農業容器のラベルに記載された使用方法ではなく、変更後の使用方法が記載されたメーカーのチラシなど、最新の情報に従って使用して下さい。最新の情報は、農業の販売店や茨城県病害虫防除所のホームページ等で確認して下さい。